

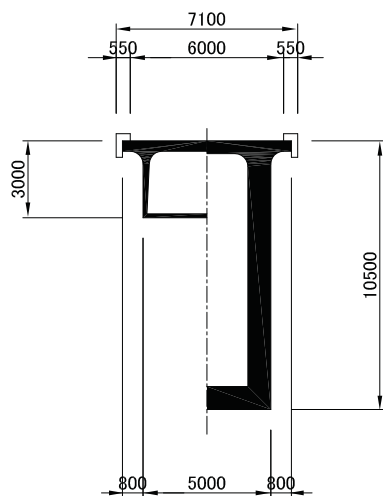
# 名護屋大橋

Nagoya Bridge

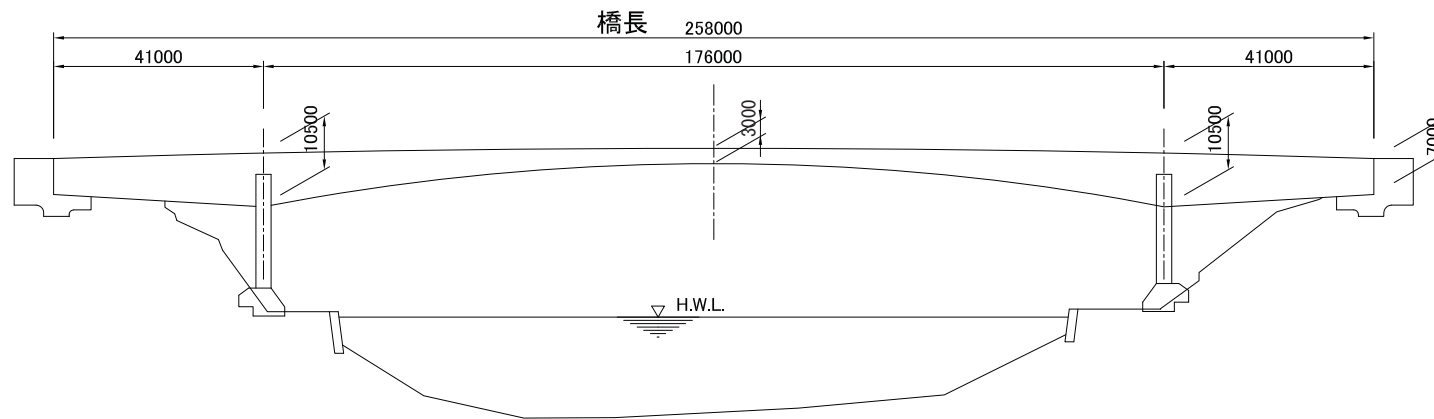
名護屋大橋は佐賀県東松浦郡呼子と名護屋間を結び、名護屋浦に建設された径間中央にヒンジを設けたPC3径間のラーメン橋です。

台風時の大型船舶の避難航路の確保、及び、水深の深い海域での海中基礎を避ける目的で、当時としては日本最大支間を持つ3径間連続有ヒンジラーメン橋が採用されました。

橋種(活荷重)	一等橋(TL-20)
構造形式	3径間連続有ヒンジラーメン橋
橋長	258.0m
最大支間	176.0m
施工法	場所打ちカンチレバー工法
定着工法	ディビダーク工法
所在地	佐賀県東松浦郡
発注者	佐賀県
完成年	1967年
工費	上下部取付道路工 242,000(千円)
昭和42年度	土木学会田中賞 作品部門受賞作品



断面図



側面図